

## 令和5年度 第18回「御手洗地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年10月16日（月） 19：30～20：30

場 所：御手洗公民館

参加団体等：振興協議会、御手洗喜米クラブ、運営審議委員、社会福祉協議会、  
防犯協会御手洗支部、コミュニティ組織委員会、町内会、AI時代の  
ためのプログラミング会 など

### 発言【1】

松任海浜公園において、年に何度かクリーン作戦などを行っているが、それでもごみは増え続けている。徳光海岸で機械による掃除などができないか。

海浜公園にごみ袋を設置し、いつでもごみを集められるようにし、集めたごみを持って行くことで、温泉の割引券を渡すなどごみ拾いを促進する取り組みができないか。

### 【市】

県からの委託事業で、重機を使った清掃を実施しています。ごみ拾いに対し温泉の割引券を配布することは考えておりませんが、海岸清掃ボランティアの方に対しては、市環境課でごみ袋の提供と、その集められたごみの回収を行っております。市では、重機・海岸清掃用のバケットを所持しており、今後活用を検討したいと思います。

### 発言【2】

シーサイド松任は電気や水道関係の設備が古くなっている。改修していくには費用がかかると思うが、そのままにしておくのはもったいない。できるだけ継続して修理等の対応をしてもらえないか。

### 【市】

シーサイド松任は平成6年4月の開設以来、地元住民をはじめ県内外からの観光利用等により親しまれてきましたが、施設全体の老朽化が著しく、特に空調設備冷温水配管の腐食による水漏れが頻発し、営業に大きな影響が生じてきたため、令和5年11月から休止としました。

今後の利活用については、市全体の施設整備等も勘案しながら、慎重に検討してまいります。

### 発言【3】

- (1) 市は高齢者の免許返納の代替手段としてタクシーチケットなどの配布を行っているが、実際に65歳以上の何パーセントが免許返納をしているのか。
- (2) 今後、高齢者がさらに増えていくことを考えると、もっと色々な視点で高齢者施策を考えていかなければいけないと思う。

#### 【市】

- (1) 高齢の方の免許返納の割合は把握できませんが、白山市のR4年度の高齢者運転免許証自主返納支援件数は420件になります。

#### 【参考】

石川県警察本部の統計になりますが、県内の運転免許保有者数は776,367人、うち高齢者（65歳以上）は208,003人で全体の26.8%になります。

（令和4年いしかわの交通統計より）

- (2) 市では寿命を延ばすだけでなく健康な状態を維持できるよう、認知機能と身体機能の改善を図るために、「あたまとからだの健康推進事業」に取り組んでおります。

また、地域包括支援センターや地域ふれあいサロン等で、介護予防講座を開催しています。

その他、「ふるさと白山体操」や「足腰ぴんぴん体操」など市独自の介護予防体操を広く普及し、体操に取り組む人や団体を増やすため、介護予防体操を指導する介護予防サポーターを育成しております。

### 発言【4】

AI時代のプログラミングのための活動を、小学生を対象に行っている。若い世代や子供の夢や希望に応えられるような取り組みを市は増やして行ってほしい。特にテクノロジー関連に関心をもつ子供のためには産業や観光などでそういった面に関われる職場を市に提供してほしいと考える。ロボットやAI関係などのテクノロジー系の企業誘致などにもっと力を入れてほしい。

#### 【市】

現在、プログラミング学習は、小学校では2年生の音楽で「リズムづくり」、3年生の社会で「方位」、5年生の算数で「正多角形の作図」、6年生の理科で「発電と電気の利用」において各校の教育課程に位置付けて行っています。中学校では技術科の「情報の技術」において、プログラミングの学習が教育課程に位置づけられています。

また、本市は製造品出荷額等で県内トップクラスであるなど、ものづくりのスペシャリストである企業が多く立地しており、これまで地域貢献活動として市内の小学校にプログラミングを体験できる出前授業なども実施いただいているところです。今後とも、ご意見にあるような業種をはじめとして、市の産業進展に資する企業誘致に努めてまいりたいと考えております。